

《第148回》 令和七年十月の作品

〈十月十日（金） 文京区民センター3E〉

行く秋や馴染みの店も閉店す
（隆治）

稲刈りは昔ながらに棚田かな
（奉男）

大振りの秋刀魚一匹丸かじり
（貴美）

夜更かしが常となりたる鉦叩
（一江）

木犀の香を浴び吾の誕生日
（孝昭）

田中将大投手

秋風や執念実る二百勝
（正佳）

くつつき虫取ってくれる児秋夕焼
（正雄）

亡き母の一言思ふ秋の風
（平六）

厨より秋刀魚焼けたと妻のこゑ
（前歩）